

第4学年 国語科学習指導案

児童 男子23名 女子16名 計39名
指導者 新毛 育子

- 1 単元名 本と友達になろう 教材名 「白いぼうし」「本は友達」
- 2 単元について

■指導事項（新学習指導要領）■

- 場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述を基に想像して読むこと。 <読むこと一ウ>
- 目的や必要に応じて、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章などを引用したり要約したりすること。 <読むこと一エ>
- 文章を読んで考えたことを発表し合い、一人一人の感じ方について違いのあることに気付くこと。 <読むこと一オ>

(1) 児童の実態

これまでに児童は、3年「本は友だち～本のおびをつくろう～」で、見せ方を工夫しながら本の紹介をしたり、世界のお話を読んだりする活動、「ちいちゃんのかげおくり」では場面の様子を想像しながら読み、感じたことを伝え合う学習、「モチモチの木」では、好きな場面を感想文や感想画に表し発表する活動を行ってきた。4年生になってからは「三つのお願い」で、登場人物の気持ちを読み取って様子が表れるように音読し、物語の世界を味わう学習を行ってきた。

児童は低学年のころには毎週読み聞かせを聞いており、本が好きな子も多い。読書の時間は集中して読むことができる。しかし、挿絵やマンガが多く載っている本を選んだり、低学年が読む本を手にとったりするなど、読書活動には個人差が感じられる。

また、自分の思いを話す機会を多くもってはいるが、同じような表現になりがちで、友達の考えと比べたり、その良さを感じて自分の考えに生かしたりするまでには至っていない。発表する児童も限られることが多く、積極的な学習活動がなされているとは言えない。

(2) 教材について

本単元では、いろいろな読み物に興味をもち、本を探して読むために三つの学習活動を構成している。まず、「白いぼうし」を読み、次に好きな場面やその理由を伝え合う学習を行う。そして、並行読書をしてきた同じ作者の本を友達に紹介し、発信するという学習を行う。「白いぼうし」の読みは、シリーズものや同じ作者の本、ファンタジーをはじめとした様々な本と出会わせたり、より豊かな読書生活へ広げたりすることを目的としたものになっている。

(3) 指導にあたって

みとおす（導入）段階では、「おすすめの本の紹介カードを書いて交流し合う」という目的を提示し、子どもたちが目的意識をしっかりと持って学習を進めていくようにする。そこで「白いぼうし」の作者の本を何冊か紹介し、興味をもたせて並行読書を始める。同じ作者の本やシリーズものの本を読むという読書のしかたに気付かせ、その楽しさを味わわせていきたい。

ふかめる（展開）段階では、場面や情景を想像させる言葉や登場人物の人柄などについて想像しながら自分の考えをまとめていく。そこでは一人一人の思いや考えが違ってくると思われるが、自分の思いを大切にしながら読ませるようにしたい。最後には、自分の好きな場面を選び、理由をつけて発表し合う学習を行う。自分との相違点を考えながら発表を聞いて感想を交流することで、心に残る場面や理由は人によって違うことに気付かせていきたい。

まとめる（終末）段階では、並行読書をしてきた本の中から、自分のおすすめの本の紹介カードを書く活動を行う。ここでは作品に対する自分の思いを効果的に伝える方法を学習し、表現できるようにしていきたい。そしてカードを紹介し合い、感想を交流することで、友達の様々な考え方にふれさせていきたい。また、他のファンタジー作品や違うジャンルの本を紹介したり、地域の図書館へ学級の児童全員と行く機会を設けたりして、読書の幅を広げていきたい。

(4) 研究との関連

本単元では「交流を通じた言語活動」として、みとおす段階で「不思議に思ったところ、楽しいところ、みんなで話したいところなどの感想をもち、交流する」場を設定する。ふかめる段階では「叙述をもとにしながら情景や登場人物の様子を想像して読み、考えを交流する」「好きな場面と選んだ理由を発表し、感想を交流する」場を、まとめる段階では「友達の発表を聞いたり、紹介された本を読んだりして、感想を交流する」場を設定する。

特にまとめる段階では、並行読書をしてきた本を紹介し合う活動を行うことにより、友達の様々な考え方にふれる。自分の考えとの相違点を考えながら質問や感想を話すとともに、シリーズものやファンタジー作品を読む楽しさを味わう場となるようにしたい。

本単元で身につけさせたい言語能力 ■ 文学的文章（物語文）

○ 場面の情景や描写を読む力

3 単元の見積

- (1) 情景描写や人物描写に気をつける読み方を知り、作品をより楽しんで感想を深める。
- (2) 本の探し方を知り、自分で探した本のおもしろさの中心を明確にしてカードに書き、友達と紹介し合う。

4 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
・物語を楽しみながら読み、いろいろな本を読もうとしている。	・本の探し方が分かり、いろいろな読み物を探して読む。 ・情景や登場人物の様子を叙述をもとに想像しながら読み、自分の感想をもっている。 ・作品のおもしろさについて、自分と友達の受け止め方の相違に気付いている。	・表現したり理解したりするために必要な語句を増やしている。

5 学習指導計画及び評価規準（全16時間）

段階	主な学習活動	評価規準	交流を通じた言語活動
一次（導入） みとおす (5)	学習計画を立てる。 ・学習のめあてを知る。 ・「車の色は空の色」シリーズや、あまんきみこ作品の紹介を聞き、並行読書始める。 ・おすすめの本を紹介し合うという目的をもつ。 ①	・「白いぼうし」を読んで初発の感想を交流し、学習の見通しをもつことができる。	不思議に思ったところ、楽しいところ、みんなで話し合いたいところなどの感想をもち、交流する
二次（展開） ふかめる (7)	「白いぼうし」を読みながら並行して他の作品を読む。 ・夏みかんにこめられた登場人物の思いを言動に注意して読み取る。 ① ・松井さんの人柄を、白い帽子、たけのたけお君との関わり方から読み取る。 ① ・女の子と松井さんの様子を読み取る。 ① ・たくさんの白いちょうが飛んでいる様子を読み取り、聞こえてきた声について話し合う。 ①	・松井さんが夏みかんを大切に思っていることを、会話と行動から読み取っている。 ・松井さんが男の子のことを思いやる心を、会話と行動から読み取っている。 ・女の子と松井さんの様子を、会話と行動、様子を表す言葉から読み取っている。 ・たくさんのちょうが飛んでいる場面の様子を想像している。	叙述をもとにしたしながら情景や登場人物の様子を想像して読み、考えを交流する。

		感想をまとめ、交流する。 ・好きな場面を選び、自分の考えをまとめる。 ② ・理由をつけて発表したり、友達の発表へ感想を話したりする。 ①	・心に残った場面を分かりやすく話したり、自分の考えとの共通点、相違点を考えながら聞いたりする。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 好きな場面と選んだ理由を発表し、交流する。 </div>
三次 (終末)	まとめる (8)	「あまんきみこの本」紹介カードを作り、交流する。 ・見通しをもつ。 ・並行読書した本の中から紹介したい本を探し、もう一度読む。 ①	・紹介文を書く目的で、必要なことや伝えたいことを考えながら読んでいます。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 友達の発表を聞いたり、紹介された本を読んだりして、感想を交流する。 </div>
		・カードの作り方を知り、紹介する内容を考える。 ②	・伝えたいことを中心をはっきりさせている。	
		・下書き、推敲をし、挿絵やレイアウトを工夫しながら清書する。 ②	・相手意識をもち、丁寧に紹介カードを作っている。	
		・紹介カードを発表し合い、興味をもった本を読む。② (本時 2/2) ・学習のまとめをする。 ①	・本の紹介を聞き、感想を話したり本を読んだりする。	

6 本時の指導

(1) 目標

紹介カードを発表し合い、感想を交流することができる。

(2) 展開

段階	学習内容と学習活動	教師の指導・支援と評価
みとおす (5)	1 前時の学習を振り返る。	・友達が「その本を読みたい。」と思うように、工夫して紹介カードを作ったことを振り返らせる。
	2 本時の学習課題を把握する。	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> あまんきみこさんの本を紹介し合い、感想を交流しよう。 </div>	
ふかめる (32)	3 交流のしかたについて確認する。	・紹介したいことが伝わるように話すことや、自分と友達との考えの違いや発表の良いところを考えながら聞き、感想を話すことをとらえさせる。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 交流を通じた言語活動 </div>	
	4 グループの中で本の紹介をし、感想を交流する。 ・紹介カードを提示したり、並行読書した本を見せたりしながら話す。 ・友達の考えの良さにふれながら質問や感想を話すようにする。	
	5 全体の場で友達の発表を聞き、感想を交流する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <評>友達の発表や紹介内容の良さ、自分の考えとの相違点に気づき、質問したり感想を話したりしている。 </div>

ま と め る (8)	6 学習のまとめをする。 ・本を紹介し合っ て思ったことや、 感想を交流した ことで分かった ことなどを書 く。	・友達の考えの良 さを見つけ、自 分の考えと比べ ることで、自分 の考えが深まっ てきていること に気付かせる。
	7 次時の学習について知る。	

(3) 交流の場の設定

項 目	内 容
場面・形態	グループ交流（特別：3～4人） → 全体交流 紹介カードを発表し、感想を話し合う。
ねらい	自分の考え（紹介したいところ）を話す。 友達の発表の良さや自分との相違点を考え、感想を交流する。
留意点	グループで学習が進められるよう、進行役の指導をする。
教師の動き	机間指導をし、交流がスムーズに行われるように支援をする。

(4) 本時の具体的な評価

A 十分に満足できる	B おおむね満足できる	努力を要する場合の手立て
紹介カードを発表し合い、友達の発表や紹介内容の良さ、自分の考えとの相違点に気付き、質問したり感想を話したりしている。	紹介カードを発表し合い、友達の発表に対して感想を話している。	紹介カードの発表を聞き、友達の発表内容の良いところを考えさせる。